

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【公開番号】特開2008-152192(P2008-152192A)

【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2006-342637(P2006-342637)

【国際特許分類】

G 03 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/08 504 B

G 03 G 15/08 501 C

G 03 G 15/08 506

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月15日(2009.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

球形状である非磁性一成分現像剤を担持搬送する現像剤担持体と、

前記現像剤担持体に圧接するように設けられ、前記現像剤担持体に担持された前記現像剤の量を規制する現像剤規制部材と、

を備え、

前記現像剤規制部材が導電性を有し、前記現像剤規制部材が導通部に電気的に導通される現像装置において、

前記現像剤担持体は、前記現像剤担持体表面の水に対する接触角が100度以上となるように設けられていることを特徴とする現像装置。

【請求項2】

前記現像剤担持体の表面粗さは、算術平均粗さ(Ra)で0.3μm以下であることを特徴とする請求項1に記載の現像装置。

【請求項3】

前記現像剤規制部材に直流バイアス電圧を印加する電圧印加手段を備え、

前記電圧印加手段により前記現像剤規制部材に前記直流バイアス電圧を印加して、前記現像剤担持体との間に電位差を設けることにより、前記現像剤担持体に担持された現像剤に電荷を付与し、前記現像剤の摩擦帶電量を増加させることを特徴とする請求項1又は2に記載の現像装置。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか1項に記載の現像装置を備え、画像形成装置に着脱可能に設けられることを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項5】

前記プロセスカートリッジは、前記現像装置によって現像作用が行われる静電潜像担持体を備えることを特徴とする請求項4に記載のプロセスカートリッジ。

【請求項6】

静電潜像担持体と、

前記静電潜像担持体に現像作用を行う請求項1乃至3のいずれか1項に記載の現像装置

と、

を備えることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記目的を達成するために本発明にあっては、

球形状である非磁性一成分現像剤を担持搬送する現像剤担持体と、

前記現像剤担持体に圧接するように設けられ、前記現像剤担持体に担持された前記現像剤の量を規制する現像剤規制部材と、

を備え、

前記現像剤規制部材が導電性を有し、前記現像剤規制部材が導通部に電気的に導通される現像装置において、

前記現像剤担持体は、前記現像剤担持体表面の水に対する接触角が100度以上となるように設けられていることを特徴とする。